

日本学士院会員候補者推薦書

1. 被推薦者 (氏名)
1. 本籍 (都道府県名のみ記す。)
1. 住所 〒
1. 生年月日
1. 現職 (若しくは最終の職)
1. 専攻学科目
1. 所属すべき分科の指定

右何 某 氏を学術上功績顕著な科学者と認め日本学士院会員候補者に推薦します。

令和 年 月 日

推 薦 者
学術団体名及び所在地

右代表者
氏 名 自 署 (団体における地位、役職等頭書)
住 所

日本学士院長 井 村 裕 夫 殿

日本学士院会員候補者推薦書

1. 被推薦者 上野太郎 (うえの たろう)
1. 本籍 東京都
1. 住所 〒110-●●●● 東京都台東区上野公園●-●-●
1. 生年月日 昭和● (19●●) 年●月●日
1. 現職 (若しくは最終の職) ●●●大学教授、●●大学名誉教授
1. 専攻学科目 ●●学
1. 所属すべき分科の指定 第●部第●分科

右 上野太郎氏を学術上功績顕著な科学者と認め日本学士院会員候補者に推薦します。

令和●年●月●日

推薦者

学術団体名及び所在地

●●学会

〒110-●●●● 東京都台東区●-●-●

右代表者

氏名 会長 ● ● ● ● ※自署 (押印不要)

住所 〒110-●●●● 東京都台東区●-●-●

日本学士院長 井村裕夫 殿

日本学士院会員選定規則（抄）

（候補者の推薦）

第3条 日本学士院会員候補者の推薦をなし得る者は次のとおりとする。

(1) 学術機関（大学の各学部及び研究所を含む。）及び学会（学術機関及び学会を以下「学術団体」という。）

(2) 日本学士院会員

(3) 日本学術会議会員

2 前項の推薦資格者は、各学術団体又は各個人ごとに候補者1名を推薦することができる。

3 日本学士院会員と日本学術会議会員との2つの資格を有する者が候補者を推薦する場合には、日本学士院会員の資格をもってこれを行うものとする。

4 日本学士院会員は、その所属する分科の候補者に限り推薦することができる。

5 日本学術会議会員は、その所属する部に相当する分科の候補者に限り推薦することができる。

6 推薦者は、次の事項を記載した推薦書を、日本学士院長に提出しなければならない。

(1) 被推薦者の氏名、本籍（都道府県名のみ記す。）及び住所

(2) 所属すべき分科

(3) 履歴（概要でよい。）

(4) 主要な学術上の業績（その大要を記載する。）

(5) 主要な著書及び論文の目録（簡単な解説を附する。）

7 推薦書は、別記の書式により、推薦者（学術団体の場合にはその代表者とし、その代表者の団体における地位、役名等を記す。）の署名を必要とする。

8 推薦には本人の承諾を必要としない。但し、本人はこれを辞退することができる。

9 推薦書は、あらかじめ公示された提出期間内に、日本学士院事務室あてに送付しなければならない。

10 郵送による推薦書が期間経過後に到達したときは、郵便官署の日附印により、期間内の発信を確認し得る場合に限り、期間内に提出されたものとみなす。

- 11 推薦書が期間経過後に提出された場合には、これを受理しない。推薦書がいちじるしく要件を欠くときも同様である。
- 12 提出した推薦書に不備があるときは、推薦者はこれを補正しなければならない。
- 13 選考委員会が、補正を条件として推薦書を受理した場合において、委員会の定める期間内に補正しないときは、その受理を無効とする。

(被推薦者)

第4条 推薦される候補者は、学術上功績顕著な科学者でなければならない。その資格の判定は選考委員会の審査による。

日本学士院会員分科別一覧

第1部 (人文科学部門)

(令和2年1月現在)

分科別	会員名(専攻学科目)			現員
第1分科 (文学 史学 哲学)	久保 正彰 (西洋古典学)	吉川 忠夫 (中国史)	間野 英二 (中央アジア史)	27
	中根 千枝 (社会人類学)	御牧 克己 (インド・チベット仏教学)	田代 和生 (日本史)	
	原 實 (インド古典学)	難波精一郎 (心理学)	興膳 宏 (中国文学)	
	田仲 一成 (中国文学)	玉泉八州男 (英文学)	揖斐 高 (日本文学)	
	源 了圓 (日本思想史)	青柳 正規 (美術史学・古典考古学)	深沢 克己 (西洋史学)	
	荒井 献 (新約聖書学)	川本 皓嗣 (比較文学・比較文化)	松浦 純 (ドイツ文学)	
	伊藤 貞夫 (西洋史学 [古典古代史])	佐藤 彰一 (西洋中世史)	伊藤 邦武 (哲学)	
	武田 恒夫 (日本絵画史)	塩川 徹也 (フランス文学)		
	斯波 義信 (中国史)	東野 治之 (日本史)		
	久保田 淳 (日本文学)	苧阪 直行 (認知心理学・認知科学)		
第2分科 (法律学 政治学)	小田 滋 (国際法)	菅野 和夫 (労働法)	江頭憲治郎 (商法)	22
	塩野 宏 (行政法)	石井 紫郎 (日本法制史)	渡辺 浩 (日本政治思想史)	
	三宅 一郎 (政治学・政治行動論)	小山 貞夫 (西洋法制史)	瀬川 信久 (民法)	
	樋口 陽一 (憲法学)	佐々木 毅 (政治学・西洋政治思想史)	根岸 哲 (経済法)	
	三谷太一郎 (日本政治外交史)	佐藤 幸治 (憲法学)	中山 信弘 (知的財産法)	
	奥田 昌道 (民法)	鈴木 茂嗣 (刑事法学)	井上 正仁 (刑事訴訟法)	
	西尾 勝 (行政学)	藤田 宙靖 (行政法)		
	龍田 節 (商法)	村松 岐夫 (政治学)		
第3分科 (経済学 商学)	小宮隆太郎 (経済学)	石井 寛治 (日本経済史)	斎藤 修 (経済史・歴史人口学)	14
	水田 洋 (社会思想史)	藤田 昌久 (都市・地域経済学 [空間経済学])	野中郁次郎 (経営学)	
	根岸 隆 (経済理論・経済学史)	鈴木興太郎 (厚生経済学・社会的選択理論)	岩井 克人 (経済学)	
	伊藤 誠 (政治経済学)	竹内 啓 (統計学・計量経済学)	大塚啓二郎 (開発経済学)	
	新開 陽一 (経済学)	西村 和雄 (複雑系経済学・経済変動理論)		
小計				63

第2部 (自然科学部門)

分科別	会員名(専攻学科目)			現員		
第4分科 (理学)	江崎玲於奈 (物理学)	山崎 敏光 (物理学)	佐藤 勝彦 (天文学)	29		
	広中 平祐 (数学)	松野 太郎 (気象学・地球物理学)	和田英太郎 (同位体生態学・同位体生物地球化学)			
	長倉 三郎 (物理化学)	柏原 正樹 (数学)	巽 和行 (無機化学)			
	久城 育夫 (岩石学)	西田 篤弘 (宇宙空間物理学)	大隅 良典 (分子細胞生物学)			
	横山 泉 (火山物理学)	深谷 賢治 (数学)	鈴木 啓介 (有機合成化学)			
	上田 誠也 (地球物理学)	益川 敏英 (物理学)	北川 進 (錯体化学)			
	近藤 淳 (物理学)	黒岩 常祥 (生物科学)	梶田 隆章 (宇宙線天文学)			
	森 重文 (数学)	小林 誠 (物理学)				
	竹市 雅俊 (発生生物学・細胞生物学)	長田 重一 (分子生物学・生化学)				
	大村 智 (天然物有機化学)	鈴木 章 (有機化学)				
	小柴 昌俊 (物理学)	深尾 良夫 (地球物理学)				
	第5分科 (工学)	白川 英樹 (高分子化学・物質科学)	霜田 光一 (物理学)		長尾 真 (情報学)	14
		野依 良治 (有機化学)	内田 祥哉 (建築学)		榊 裕之 (半導体電子工学)	
岩崎 俊一 (電子通信工学・磁気工学)		飯島 澄男 (物質科学)				
井上 明久 (金属材料学)		堀 幸夫 (機械工学)				
田中 耕一 (質量分析)		赤崎 勇 (半導体工学)				
堀川 清司 (土工学 [海岸工学])		吉川 弘之 (機械工学・一般設計学)				
第6分科 (農学)	山田 康之 (植物分子細胞生物学)	稲上 正 (分子細胞生理学)	喜田 宏 (獣医微生物学)	11		
	入谷 明 (家畜繁殖学)	別府 輝彦 (応用微生物学)	安元 健 (水産化学)			
	和田 光史 (土壌学)	常脇恒一郎 (植物遺伝学)	丸山 利輔 (農業農村工学)			
	四方英四郎 (植物病理学・ウイルス学)	佐々木恵彦 (森林資源科学・樹木生理学)				
第7分科 (医学 薬学 歯学)	杉村 隆 (生化学・腫瘍学)	本庶 佑 (医化学・分子免疫学)	笹月 健彦 (免疫学・免疫遺伝学・人類遺伝学)	17		
	豊島久真男 (ウイルス学・腫瘍学)	須田 立雄 (歯学)	垣添 忠生 (泌尿器科学)			
	井村 裕夫 (内科学)	鈴木 邦彦 (神経化学・神経内科・遺伝性神経疾患)	藤吉 好則 (構造生理学)			
	大塚 正徳 (薬理学)	中西 重忠 (分子神経科学)				
	岸本 忠三 (免疫学)	山中 伸弥 (幹細胞生物学)				
	廣川 信隆 (分子細胞生物学)	審良 静男 (免疫学)				
	関谷 剛男 (薬学・核酸有機化学)	宮園 浩平 (分子病理学・腫瘍学)				
小計				71		
合計				134		